

資料2 別添1

各地域包括ケア推進会議における論点

各地域包括ケア推進会議における主な議論

包括	日	参加者				議題	①課題	②関係する個別事例	③地域での対応方針	④地域での対応状況 今後の方向性	⑤市レベルで期待すること			
明第1 地域包括支援センター	11月24日	町会	3	医師	3	ケアマネ	2	各地域の現状把握と取組～社会と接点の乏しい方を支えるために～	ア	○各地域の現状把握を行い、地域の特性に応じた孤立対策を考える。	○不衛生な環境で暮らす夫妻の生活の質を高める。	○社会との接点が少ない高齢者の把握のため、近隣の商店・宅配業者など地域住民との関係作りや連携が大切。見守り、ネットワークを地域レベルで構築する。	○民生児童委員、商店や宅配業者へアンケートを実施、集計した結果を共有。 ○地域情報や困りごとの相談先の周知のため、回覧板・掲示板・ニュースレターなど活用する。	○町会未加入者、転入者など、社会との接点が少ない高齢者の把握、支援体制の構築。
		地区社協	2	歯科医師	1	介護事業者								
		市社協		薬剤師	1	通所介護								
		健康推進員	3	保健師	1	訪問介護								
		ボランティア		作業療法士		訪問看護	1							
		二層ワゴン	1	医療相談員		地域包括	6							
		生活支援CO	1	理学療法士		市役所	1							
		NPO協議会		警察		グループホーム	1							
		民間企業	1	消防		小規模多機能								
		商店	3			合計	31							
明第2 西地域包括支援センター	11月9日	町会		医師	1	ケアマネ	5	成年後見制度の理解と活用	ア	成年後見制度についての理解が、市民にも介護・医療従事者に行き届いていないために、活用が不十分	認知症夫婦の金銭管理や社会的手続に関する支援について、どのタイミングで成年後見制度につながればいいのか地域包括に相談が入った。	○成年後見制度が必要な人を早期発見するために、高齢者を支援している医療・介護等の関係者が成年後見制度についての理解を高め、相談窓口と連携する。 ○地域住民にも成年後見制度についての知識・理解を普及啓発し活用を促す。	○今回の地域ケア会議で「松戸市の成年後見制度普及啓発の取り組みについて」と「成年後見人の実務」について理解を深めることができた。 ○今回の地域ケア会議で、本来は成年後見人がいたほうが良いと思われるが、制度につながっていない高齢者が地域内にいることを確認できた。 ○認知症高齢者の生活を支えるために、今後更に、医療介護関係機関と成年後見人が連携を高める。	○成年後見制度の理解促進 ○認知症高齢者数の増加に見合った成年後見人材の確保 ○成年後見人が孤立しないような施策（メンタルヘルスクア含む） ○ケアマネや訪問ヘルパーによる利用者の金銭管理支援を実態把握し、成年後見制度につなぐべき事例がないかチェックする
		地区社協		歯科医師	2	介護事業者								
		市社協	1	薬剤師	2	通所介護	2							
		民生委員		看護師		訪問介護								
		ボランティア		作業療法士	1	訪問看護								
		高支連		医療相談員		地域包括	6							
		生活支援CO	1	理学療法士	1	市役所	2							
				警察		特別養護老人ホーム	1							
				消防		認知症グループホーム	1							
						合計	26							

各地域包括ケア推進会議における主な議論

包括	日	参加者				議題	①課題	②関係する個別事例	③地域での対応方針	④地域での対応状況 今後の方向性	⑤市レベルで期待すること		
明第2 東地域 包括支 援セン ター	11月16日	町会	2	医師		ケアマネ	2	マンションの孤 独死問題につ いて	ア 住民同士の横のつな がりをつくるために は イ 安全確保・安否確 認、異常の早期発見 するための事業の活 用を促進するため には ウ 緊急時に備えるために把 握しておいたほうが良い 内容はどのようなもの か、また、連絡体制を確 率させる方法としてど のようなものが考えられ るか	○大腸骨骨折とコロナ感 染を併発し入院するも りハビリを行わず自宅に 戻ることになった事例。 ○理解力が乏しい高齢 者に配偶者が能力以上の 自立支援や自己決定を求 めている事例。	○声掛けのボランティア等 を集い住民同士の安否 確認体制をつくる ○集会所などを利用し 住民同士が交流するイ ベントを計画する	○定期的にマンション内 で理事会等を実施し、 独居や高齢者夫婦で 生活状況に変化があり そうな世帯の情報を共 有している。今後も管 理人も含めてそういった 情報共有を行っていく	○市で開催するイベ ントの充実化
		地区社協		歯科医師	2	介護事業者							
		市社協		薬剤師	2	通所介護	2						
		民生委員	2	看護師		訪問介護							
		ボランティア		作業療法士		訪問看護							
		高支連		医療相談員		地域包括	5						
		生活支援CO		理学療法士		市役所	1						
		市民活動サポートセンター	1	警察		特別養護老人ホーム							
		他の包括職員	2	消防		小規模多機能							
		圏域内マンション理事	1			合計	22						
本庁地 域包括 支援セ ンター	11月30日	町会	1	医師	3	ケアマネ	3	コロナ禍の退 院支援におけ る医療と介護 の連携強化	ア コロナウィルス感 染症の拡大による、 面会・外出等の制限 から、本人の現状に ついて適切な情報共 有が図りづらい。 イ 直接本人と会えない ことで、意思確認が できず、家族の受け 入れや退院調整が進 まない	○入院中の面会や外出 等の制限から、本人の 状態把握が難しく、家 族が在宅介護へ不安を 抱え退院調整が進ま ない事例。	○VRやオンライン等、 今あるITの使い方を それぞれの立場で工夫 ・協力して情報共有 を図る。 ○入院した段階から 密に情報を共有を図 り、本人の状態変化 を把握する。	○ITを活用し、手法 を工夫しながら、情 報の精度と共有頻度 を上げていく。 ○入院早期からこま めに情報共有を図り、 本人の状態変化を把 握しながら、予測を 立てる。	○IT活用の推進 ○効率的な情報共有 が図れるシステムづ くり。
		地区社協		歯科医師		介護事業者							
		市社協		薬剤師	2	通所介護							
		民生委員	1	看護師		福祉用具	1						
		ボランティア		作業療法士	1	訪問看護	1						
		高支連		医療相談員	2	地域包括	5						
		生活支援CO	1	理学療法士		市役所	1						
				しづなるあ いす	1	特別養護老人 ホーム							
						小規模多機能							
						合計	23						

各地域包括ケア推進会議における主な議論

包括	日	参加者				議題	①課題	②関係する個別事例	③地域での対応方針	④地域での対応状況 今後の方向性	⑤市レベルで期待すること	
矢切地域包括支援センター	11月25日	町会	1 医師	1 ケアマネ	0	ヤングケアラーを通して考える矢切地区の共生について	ヤングケアラーに関する普及啓発と情報共有が必要。	矢切地区に実際あるヤングケアラー事例を通してその課題や支援について共有する。	まずは関わる接点を持つことが大切。関わる中で必要な支援に関して連携が必要。また活用できる社会資源についても知ることが大切	高齢者だけ、子どもだけではなく地域として関わり続けながら支援が必要な場合は早期に支援機関につなぎ、多様な課題について関わる人を増やす。		
		地区社協	0 歯科医師	1	介護事業者							
		市社協	1 薬剤師	1	通所介護							2
		民生委員	0 看護師	0	福祉用具							1
		ボランティア	作業療法士	1	訪問看護							1
		高支連	0 医療相談員	0	地域包括							5
		生活支援CO	0 理学療法士	0	市役所							1
			保健師	0	まつどNPO							1
		オレンジ協力	0 有識者	1	市民サポーター							0
		特養	0		合計							18
東部地域包括支援センター	9月20日	町会	医師	2 ケアマネ	2	支援を要する若年層の方々の地域での生活を支えるために、既存の社会資源も含め、地域にどのような社会資源があれば、生活が成り立つのか。	50代、脳出血後遺症で右半身麻痺。配偶者と子の3人暮らし。その他子が3人いる。家族関係は良好だが、家族から服薬管理等の支援は得られていない。本人は希望している生活はあるが、介護サービスは拒否している。	○支援が必要な若年層の方の実態把握が難しいため、民生委員や高支連の相談員からの情報を地域包括が共有し、地域の見守り組織と関係機関が連携して把握していく。 ○若年層の方が利用できる社会資源として、既存の子ども食堂は多世代の方が利用できる。若年層の方が気軽に来られる居場所として周知していく。	○既存の社会資源を、支援を必要とする若年層の方が利用できるように整備して、周知し利用に繋げる。 ○グリーンスローモビリティを活用して、移動目的からの交流の場としての社会資源としての活用を考えていく。ピアサポートや当事者同士の交流の場として活用していく。 ○子ども食堂を多世代交流の社会資源として活用していく。	○社会資源として、急性期・回復期の医療機関退院後に、職場復帰や就労支援をするため、リハビリ等の二次的な支援をする機関が必要。		
		地区社協	歯科医師		介護事業者							
		市社協	薬剤師		通所介護							
		民生委員	看護師	1	訪問介護							
		ボランティア	作業療法士		訪問看護							
		高支連	1 医療相談員		地域包括							2
		生活支援CO	1 理学療法士	1	市役所							2
			警察		特別養護老人ホーム							
			消防		小規模多機能							
			中核地域生活支援セン	1	合計							13

各地域包括ケア推進会議における主な議論

包括	日	参加者					議題	①課題	②関係する個別事例	③地域での対応方針	④地域での対応状況 今後の方向性	⑤市レベルで期待すること
常盤平 地域包括 支援セ ンター	11月17日	町会	3	医師	1	ケアマネ	7	地域の見守りに ついて、色々な 立場で考える (自助互助共助 公助について)	〇度々支援を求めて苦情 を訴えるが、サービスの 利用を勧めると拒否や中 断してしまう独居高齢者 方。	〇傾聴し、自身で解決しても らうよう働きかける 〇近所との関係が良いため、 相談先を地域の方からお知ら せいただく 〇栄養士の栄養指導を活用し てみる 〇子ども食堂などにきてでき れば手伝ってもらう	〇近隣住民として挨拶や声掛 け、親睦をはかる 〇見守りを行う地域資源を探 す他、作ることも検討 〇地域の行事や子ども食堂な どに誘う 〇在宅医療・介護連携セン ターの管理栄養士の栄養指導 を活用してみる	〇見守りを行う地域資源の 開発 〇みまもりサービス企業へ の働きかけ 〇病識の欠如や受診中断し ている高齢者宅に保健師が 訪問する 〇介護保険以外に高齢者の 食事や集いの場所作りや訪 問栄養指導
		地区社協	1	歯科医師	0	介護事業者						
		市社協	0	薬剤師	1	通所介護	2					
		民生委員	0	保健師	1	福祉用具	2					
		ボランティア		作業療法士	1	訪問看護	1					
		高支連	2	医療相談員	2	地域包括	4					
		生活支 援CO	0			市役所	0					
						特別養護老 人ホーム	1					
						商店	2					
						合計	36					
常盤平 団地地 域包括 支援セ ンター	10月6日	町会	1	医師	1	ケアマネ	5	介護保険サービス外 で生活困窮の方が金 銭負担を最小限に移 動出来る方法	一人で通院することが出 来ない人が経済的な負担 を最小限にして通院でき る方法はないか	〇市社協、NPO等の有償ボ ランティア 〇地区社協ホームヘルプサー ビス 〇市社協ふれあいサービス 〇UR 社協見守りサービス 〇サークル活動	周知活動の一環としてイベ ント等を開催	対応できる事業所の拡充
		地区社協	1	歯科医師		介護事業者						
		市社協	1	薬剤師	1	訪問介護						
		民生委員		看護師		訪問看護	1					
		ボランティア		作業療法士	1	福祉用具	1					
		高支連		医療相談員		地域包括	4					
		生活支 援CO	1	理学療法士		市役所	1					
				行政書士		特別養護老 人ホーム						
				その他	2	小規模多機 能						
				傍聴・見学	8	合計	29					
						生活が困窮して いる高齢者につ いての移動支援 と成年後見制度 の活用について	〇家族協力が不可な生活 困窮者を病院や施設に迷 惑かけずに成年後見に繋 げる方法の検討事例 〇緊急入院した認知症高 齢者を成年後見に繋ぐ手 法	〇家族協力が不可な生活 困窮者を病院や施設に迷 惑かけずに成年後見に繋 げる方法の検討事例 〇緊急入院した認知症高 齢者を成年後見に繋ぐ手 法	〇URの掲示板、イベントの 活用 〇商店、病院待合室等への掲 示 〇介護事業所から直接利用者 にチラシ配布	〇チラシに頼らずイベント等 で対面広告 〇プレゼントやクーポンなど インセンティブを付ける 〇スタンプラリー（盛り上げ りは過去に実証済み）	成年後見申立て中の本人財 産の利用の検討、また、申 立て中に施設入所に至った 場合の不要自宅家賃の保護	

各地域包括ケア推進会議における主な議論

包括	日	参加者				議題	①課題	②関係する個別事例	③地域での対応方針	④地域での対応状況 今後の方向性	⑤市レベルで期待すること			
五香松 飛台地 域包括 支援セ ンター	11月17日	町会	医師	1	ケアマネ	7	地域包括ケアシ ステムの構築に ついて	ア イ ウ	○認知症 ○地域包括ケアシ テム	認知症高齢者を介護して いる配偶者が共に施設入 所したが、入所後ほどな く配偶者の自傷行為がみ られた。ケアマネとして 家族をどこまでアッセメ ントするか？	ご近所の関係性が希薄で地域 にどんな方が住んでいるか顔 が見えてこない。	地域の方に「権利擁護」の研 修を行う。		
		地区社協	3	歯科医師	1	介護事業者								
		市社協	1	薬剤師	1	通所介護								
		民生委員	2	看護師		訪問介護								
		ボランティア		常盤平基幹	1	訪問看護								1
		高支連	3	管理栄養士	1	地域包括								5
		生活支 援CO		理学療法士	1	市役所								1
		まつど NPO	1	学校長	2	特別養護老 人ホーム								1
		健康推進課		小規模多機 能										
		その他	1	合計	34									
六実六 高台地 域包括 支援セ ンター	11月16日	町会	2	医師	ケアマネ	5	ゴミ出し・分別 の支援につい て、困難を抱え る高齢者に対 して、それぞれの 立場で、自分が やれそうなこと はないか	ア	○ゴミ出し・分別に ついて、困難を抱え る高齢者に対して、 それぞれの立場で、 自分ができそうなこ とははないか。	○認知症がある独居の方 のお金の管理について。	○イラストで分かりやすいゴミ 出し表を作成する。 ○ゴミ出しアプリを周知す る。 ○集積所に残ったゴミは環境 業務課に相談できることを周 知する。	○イラストで分かりやすいゴミ 出し表を作成する。 ○ゴミ出しアプリを周知す る。 ○集積所に残ったゴミは環境 業務課に相談できることを周 知する。	○ゴミ出しの時間を見直 す。 ○ゴミ焼却炉を新しくす る。 ○ゴミの分別を少なくす る。 ○高齢者にも使いやすいAI 音声サービスを導入する。	
		地区社協	1	歯科医師	1	介護事業者								
		市社協		薬剤師		通所介護								1
		民生委員	1	看護師		訪問介護								1
		ボランティア		作業療法士		訪問看護								
		高支連	1	医療相談員		地域包括								4
		老人会		理学療法士	1	市役所								1
		生活支 援CO	1	警察		特別養護老 人ホーム グループ ホーム								1
		消防		ホーム	1									
		その他	1	合計	23									

各地域包括ケア推進会議における主な議論

包括	日	参加者				議題	①課題	②関係する個別事例	③地域での対応方針	④地域での対応状況 今後の方向性	⑤市レベルで期待すること			
小金原 地域包括支援 センター	11月21日	町会	17	医師	2	ケアマネ	3	「誰かとなが る どこかとつ ながる 小金原 地区」 身体状況を信号 ア になど、黄色 信号（フレイル 状態）の私がし たい事・して欲 しい事	健康な私たちが、 「少し元気のなく なった黄色信号の私 はどう考える」か を、相手の立場に立 ち、考える事から気づ きを見出せるか。	○本人が、意欲を持って 行動を開始しても、坂道 や歩道事情により、外出 の制限がある。 ○老々、独居。本人の疾 患や疾患を持つ子との世 帯等あり、地域との関係 が希薄になっている。更 に、体力・意欲低下にな るケースが見られる。	銀行とURコミュニティが参 加。地域での取り組みの紹 介。町会・自治会長も、まつ どDEつながるステーショ ンをはじめ共生社会向けに、地 域で取り組む力が必要である と再認識し、これらの活動を 多くの住民にも広げる。	○出張包括やパトワークを 町会・自治会と行い、つな がりを強化する。 ○まつどDEつながるステー ション、2層ワーキングに参 加し住民や専門職・多世代の 交流を盛んに行うことで、地 域共生の視点が多くの住民へ 浸透していく	さまざま人が暮らしている 中、偏見を持たない・決め つけないで、お互いに尊重 しあいながらのまちづくり の周知活動	
		地区社協		歯科医師			介護事業者							
		市社協		薬剤師			通所介護							
		民生委員	1	保健師			訪問介護							
		ボランティア		作業療法士	1		訪問看護							1
		高支連	1	スクールソーシャル ワーカー	1	地域包括	6							
		生活支 援CO	1	理学療法士		市役所	2							
		オレンシ協 力員	1	UR	3	傍聴・包括	1							
		MSW	1	銀行	3	小金基幹お んぶ	1							
				活動団体	2	合計	48							
新松戸 地域包括支援 センター	11月17日	町会		医師	1	ケアマネ	2	○消費者被害が増え ているが、羞恥心や 認知機能低下、周囲 が気が付かない等に より、タイムリーな 相談につながらず解 決が難しい ○一度消費者被害に あつとターゲットに なり、繰り返し消費 者被害にあつてしま う ○消費者被害に対す る正しい知識がない (受取拒否や返品が 可能)	認知症の夫と認知症が疑 われる本人の夫婦2人暮らし。 消費者被害に何度も あつているケース。	○消費者被害に対する正しい 知識の普及活動を行う ○家族にも被害や被害にあつ た本人への接し方を理解して もらう ○消費者被害防止のための電 話機や勧誘お断りステッカー 等のグッズを活用する ○支援者が訪問時に観察し、 消費者被害にあつていないか 観察する、アンテナを高く持 つ ○消費者被害が起きたら地域 包括に相談してもらい、必要 な支援機関に繋ぐ ○行政・事業所・警察等の連 携を図る	○地域包括主催の教室など人 が集まった時に、荷物が届い ても返品できるなど消費者被 害の知識普及や、消費者被害 防止のための情報提供・周知 活動を行う ○支援者は訪問時に観察力を 発揮し、消費者被害の早期発 見に努める ○消費者被害についての相談 があつた際は、必要に応じて 医療・介護へも繋げる。	○行政、警察、地域、本 人・家族、事業者など必要 機関との連携強化 ○消費者被害対応マニユ アル・体制整備		
		地区社協		歯科医師	1		介護事業者							
		市社協		薬剤師	1		通所介護							
		民生委員	3	看護師			訪問介護							
		ボランティア		作業療法士			訪問看護						1	
		高支連 (重複)		医療相談員	1	地域包括	3							
		生活支 援CO	1	理学療法士		市役所	1							
		配達業 者	3	警察		特別養護老 人ホーム								
				消防		小規模多機 能								
		保健師	1	言語聴覚士	1	合計	20							

各地域包括ケア推進会議における主な議論

包括	日	参加者				議題	①課題	②関係する個別事例	③地域での対応方針	④地域での対応状況 今後の方向性	⑤市レベルで期待すること			
馬橋西 地域包括 支援セ ンター	11月25日	民生委員	2	医師	1	ケアマネ	3	多問題世帯、家 族関係が希薄、 連絡がとれない 家族	ア	○家族関係が希薄で 家族と連絡がとれな かったり、とれても 理解不足で支援が進 みにくい。	○家族と連絡がとれず、 中々サービスが利用でき ない。 家族と支援者間の温度差 がある。	○支援者間、家族、本人との 情報共有。 ○支援者間での顔の見える関 係性作り。	○一人の方を誰が支援してい るか等を分かる様にする統一 した情報共有シート（ノー ト）の作成と活用。	
		地区社協		歯科医師	1	介護事業者								
		市社協	1	薬剤師	2	通所介護								
		ボランティア		言語聴覚士	1	訪問看護								
		高支連		医療相談員		地域包括	3							
		生活支 援CO		理学療法士		市役所	2							
				警察		特別養護老 人ホーム								
				消防		小規模多機 能								
		生活支援 CO	1	合計	16									
馬橋地 域包括 支援セ ンター	11月10日	町会		医師	1	ケアマネ	1	災害時の備えが できる地域力を 強める為、日頃 から地域住民が 取り組むべき普 及啓発とは	ア	「災害時に協力し合 える世代を超えた関 係づくり」 ～災害時に備えて日 頃からの地域づく り、お互いに顔の 見える関係づくり～	○馬橋地区で行った多世 代食堂を踏まえての、今 後の課題 ○地域住民同士の関係性 を築くための活動につ いて	○多世代食堂の参加しなかつ た層に対してのアプローチを 考えていく必要がある。 ○市で行っている、既存の企 画とも連携できるとよい。 ○地域住民が体験できるイベ ントがあるとよい。	○地域で行っている活動を継 続していく。多世代食堂を継 続して行っていける方法を検 討する。 ○地域のボランティアや民生 委員を中心に、地域住民への 啓発活動を継続していく。	○幅広い層へのアプローチ として、市が企画している イベントとの連携も検討し ていく。 ○地域の住民が防災の意識 を持てるようなイベントも 企画していく。
		地区社協		歯科医師	1	介護事業者								
		市社協		薬剤師	1	通所介護								
		民生委員	2	看護師		訪問介護								
		ボランティア		作業療法士	1	訪問看護								
		高支連		医療相談員		地域包括	4							
		生活支 援CO	1	管理栄養士	1	市役所	2							
				警察		グルー プ ホーム	1							
		消防		小規模多機 能	1									
				合計	19									